

愛は南から――

今回の「愛は南から」では、愛南町（旧御荘町）出身で千葉県千葉市在住の川口日出樹さんから届いたエッセイを紹介します。

県外から見た愛南町の良さ

寄稿

愛南町（旧御荘町）出身 千葉県千葉市在住

川口 日出樹さん
ひでき



愛南で暮らしていた18年間という期間と、関東で住んだ期間が、逆転する。

だが、ふるさとへの一番の恩返しは、その土地へ定住することなのだとは考えている。

愛南から離れて18年。その間に、「御荘町」が「愛南町」へと地名が変わった。

私が愛南町へ帰省する際、自然と定着していることがある。

実は、愛南町という地名は、自分自身の中でいまだに定着していない。

須の川の海岸沿いを見た時、「デヴィッド・ボウイ「スターマン」が私の頭の中を駆け巡る。

私にとって愛南町は、いまだに「御荘」のままなのだ。

もりのこの曲を書いたとは思わないが。

9年3月。当時18歳、南宇和高校を卒業した。そのため、関東方面へ。千葉県、東京都内と、進学・転職などに合わせて、あつ場所を転々とした。から18年。というと、千葉県にある専で、デザインの教職員である。

進学、就職、家庭：様々な事情があつて、私のように、地元に戻りたくても戻れない出身者は大勢いる。

し、結婚をした。今年。

だからこそ、何かしらの形で地元への恩返しをしたい気持ちがある。

もうすぐ、愛南で暮らしていた時期と、関東で住んだ時期の長さが、逆転する。